

化学物質総合管理システム LINUX OS を採用した使いやすいシステム

Reagent Master Ver.3.0



Reagent Master - S

化学薬品の持ち出し管理・使用状況の把握に



化学物質総合管理システム ReagentMaster Ver.3.0 (RFIDによる試薬ビン識別機能を組み込んだシステム)

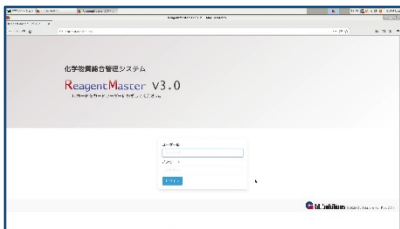
ReagentMaster Ver.3.0は、システムを使用する個人と管理される化学薬品をデータベースに登録し、「いつ」「誰が」「どの化学薬品を」「なんの目的で」「どれだけの量を」使用したか把握し管理することができます。

さらに自動認識(RFID)技術を応用し、IDタグを貼付した試薬ビンをつRFID対応の電子天秤の上に乗せるだけで試薬ビンの認識と秤量データを同時に取り込むことができます。

ReagentMaster Ver.3.0はOSにLinux*、DB(データベース)にMySQLを採用しており、従来システム(Ver.2.0)に比べ大幅なコストダウンを図りました。利用者の管理・試薬ビンの在庫管理・使用履歴の保存集計をDBサーバーが一元管理します。

*:オープンソースのOSの一種。

【ログイン方法】



- ①名前 + パスワード 入力
- ②非接触ICカード + パスワード 入力



【ログイン方法動画】

上記2つの方法より選択できます。ICカードリーダーを使用することにより、FeliCa、MIFARE 規格の社員証や学生証を使用することができます。

【試薬ビンの登録(入庫・出庫処理)】

試薬ビンの運用にはIDタグを使用した管理とバーコードによる管理の2通りから選択できます。RFID対応の電子天秤を使用することで、試薬ビンを載せるだけで、『現在日時』・『試薬名』・『質量』を即座に測定・記録できます。



【出庫・返却動画】

試薬ビンの入庫



試薬ビンの底にIDタグまたはバーコードが記載されたシールを貼り付けます。



データベースを検索し、試薬情報を事前に呼び出します。
*1:3社の試薬情報事前にインストール可能です。
*2:データベースに無い試薬は、登録してください。



試薬ビンをつ天秤に乗せ、IDタグまたはバーコードを読み取ります。



登録ボタンを押すと登録完了となります。

試薬ビンの出庫



メインメニュー画面を開きます。



IDタグでの運用の場合、天秤に乗せると即座に「日時」・「試薬名」・「質量」を記録。

バーコードラベルの場合

- ①貼付したバーコードラベルを読み取る(ビン識別)
- ②RFID対応精密電子天秤に乗せる(秤量する)



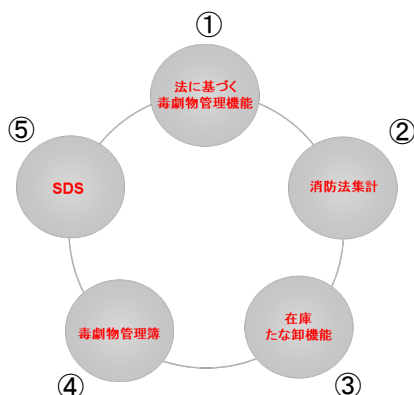
試薬ビンごとに出庫・返却画面へ遷移し、取り出し返却を確認します。

【履歴管理機能】

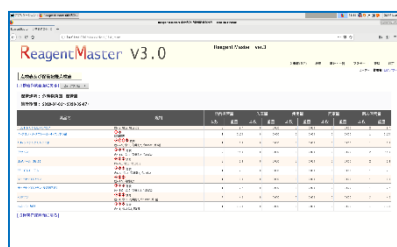
各種履歴を様々な角度から確認することができます。



【保管点検動画】



- ①法規制別（消防法、毒物及び劇物、労働安全衛生法など）の保管状況を参照できます。毒劇物のみの使用履歴を表示します。
- ②危険物に焦点を当てて指定数量に対する倍数を算出することができます。倍数集計を保管庫別で確認できます。
- ③通期の期首保管量・期末保管量・使用量・廃棄量を確認できます。貴社の在庫管理の点検にお使い頂けます。（保管点検記録表）。
- ④保管庫ごとの毒物・劇物の管理簿（月次）を出力することができます。
- ⑤インターネット環境に接続されている場合、試薬メーカーのSDSを呼び出すことができます。



- ・期首保管量
 - ・入庫量
 - ・使用量
 - ・廃棄量
 - ・期末保管量
- CSV形式での出力も可能です。

<各種関連法令>	<所轄省庁>	<化学物質総合管理システムの対象>
毒物劇物取締法	厚生労働省 管轄	毒劇物管理簿
消防法	総務省 管轄	消防法集計(倍数計算)
化学物質排出把握管理促進法(化管法)	経済産業省 管轄	PRTR集計
労働安全衛生法	厚生労働省 管轄	保管点検記録表

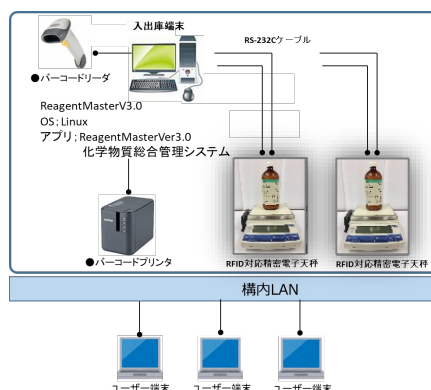
【システム構成】

ReagentMaster Ver.3.0は、構内LANに接続し使用することで、ユーザー末端で各種検索や照会が行えます。また、インターネットに接続することで試薬情報・SDSの情報を更新することが可能です。（年間保守）

- ◆天秤は、各クライアント機に次の機種を2台まで接続できます。（A&D・島津製作所製品対応）*
- ひょう量420 g／目量1 mg（小さなビン、微量使用試薬に対応）
- ひょう量4,200 g／目量10 mg（標準）
- ひょう量6,200 g／目量10 mg（ガロンビン対応）

*：その他のメーカーにつきましてはお問い合わせください。

【最小構成】



化学物質総合管理システム ReagentMaster -S

ReagentMaster -Sは、ネットワーク非対応の化学物質総合管理システムです。ログインやIDタグでの運用は、Ver.3.0同様にできます。また、試薬情報やSDSの情報は、3社まで事前に登録を行うことが可能です。

更新や追加については別途ご相談ください。利用者の登録は、50名まで行うことができます。（ReagentMaster Ver.3.0：45,000名）

ReagentMaster Ver.3.0と同様「いつ」「誰が」「どの化学薬品を」「なんの目的で」「どれだけの量を」使用したかを把握し管理することができます。

ReagentMaster 仕様

システム名	ReagentMaster Ver.3.0	ReagentMaster -S
OS	Linux	Linux
データベース	MySQL	MySQL
ネットワーク対応	○	—
Web対応	○	—
クライアント接続	○(10台まで)	—
ログイン方法	非接触ICカード、 ログインユーザー+パスワード	非接触ICカード、 ログインユーザー+パスワード
利用者ID	45,000名	50名まで
試薬ピンの認証方法	IDタグまたはバーコード	IDタグまたはバーコード
バーコードラベル印刷	○	○
試薬情報	3社*	3社まで
SDS検索	3社*	3社まで
構造式検索	○(オプション)	—
試薬情報の更新	○(インターネット接続必須)*	—
SDSの更新	○(インターネット接続必須)*	—
保管庫の移動	○	○
単位変換(g⇔mℓ)	比重により計算	比重により計算
使用時の操作	IDタグ使用の場合、IDタグリーダーをかざして天びんに載せる。 バーコードラベルの場合、バーコードを読み取った後、天びんに載せる。	IDタグ使用の場合、IDタグリーダーをかざして天びんに載せる。 バーコードラベルの場合、バーコードを読み取った後、天びんに載せる。
天びんの使用	○(2台まで接続可能)	○(2台まで接続可能)
天びん(接続可能メーカー)	A&D、島津製作所	A&D、島津製作所
PRTR集計	○	○
消防法集計	○(保管庫毎)	○(保管庫毎)
在庫管理リスト	○	○
試薬ピンの使用制限	○	○
ユーザー毎の権限設定	○	○

*: メーカーを増やす必要がある場合は、年間保守にて対応となります。



ReagentMaster Ver.3.0 及び ReagentMaster -Sは、
ジーエルソリューションズ株式会社の製品です。



東京営業部	TEL.03(5323)6611	FAX.03(5323)6622
大阪支店	TEL.06(6220)0500	FAX.06(6220)0601
横浜支店	TEL.045(985)7900	FAX.045(985)7901
東北営業所	TEL.024(534)2191	FAX.024(536)1518
筑波営業所	TEL.029(858)3700	FAX.029(858)3780
北関東営業所	TEL.048(778)5001	FAX.048(778)5005
千葉営業所	TEL.043(248)2441	FAX.043(248)2485
名古屋営業所	TEL.052(931)1761	FAX.052(931)1814
広島営業所	TEL.082(233)1101	FAX.082(233)1110
九州営業所	TEL.092(738)6633	FAX.092(738)6636
総合技術センター	TEL.04(2934)2121	FAX.04(2934)2128
カスタマーサポートセンター	TEL.04(2934)1100	FAX.04(2934)3361
福島工場	TEL.024(533)2244	FAX.024(534)2139

- 掲載している価格には消費税が含まれていません。
- 改良のため、型式、価格、仕様などにつきましては予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本カタログに掲載している会社名および製品名は、それぞれ該当する各社の商標、または登録商標です。
- 本文中には TM および ® マークは明記していません。
- データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本社 〒163-1130 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号 新宿スクエアタワー30F
TEL.03(5323)6611 FAX.03(5323)6622
<https://www.gls.co.jp> E-mail:info@glsc.co.jp



安全に関するご注意
ご使用前には必ず「取扱説明書」を
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

本リーフレットの内容は、2020年6月時点のものです。